

	1	2	3	4	5	6	7	8
施設名	長生園	救急医療センター	総合福祉会館	天子の森	袖野の里活性化施設	富士山天母の湯	新稲子川温泉ユー・トリオ	富士宮聖苑
指定管理者	社会福祉法人富士厚生会	富士宮市救急医療協会	富士宮市社会福祉協議会	天子の森運営協議会	大鹿産区	㈱ユアーズ静岡	㈱ユアーズ静岡	ふじのみや斎苑管理グループ
利用状況 利用者数(前年度、対前年度比率) 利用者数(前年度、対前年度比率)	(令和4年3月31日現在) 入所者50人(男性27人、女性23人) 期間中の退所者3人、新規入所者3人 —	10,580人(10,836人 97.6%) 130,938,391円(142,886,148円 91.6%) ※診療報酬	57,046人(40,755人 139.9%) 1,268,800円(1,646,720円 77.1%)	(キャンプ&バーベキュー) 5,671人(4,890人 116.0%) 8,420,550円 (6,545,000円 128.7%)	2,664人(3,819人 69.8%) —	50,277人(44,519人 112.9%) 入館料収入 18,551,040円 (16,791,250円 110.5%)	13,862人(155人 8943.2%) 7,090,268円(40,290円 17598.1%) R3:4/1~6/26:8/19~10/15:3/4休業 R2:7月~9月の土日祝日のみバーベキュー場を営業	— —
苦情、要望 内容	なし	5件 苦情3件(診療行為1件、接遇2件) お礼1件(診療体制) 要望1件(接遇) (継続的な苦情等の実態把握と適切な対応を指示)	4件 苦情1件(施設利用1件) 要望3件(施設利用3件) (感染症対策をはじめ、苦情・要望に対する適切な対応や配慮もできている)	なし	なし	2件 要望2件(施設環境2件)	多数 施設再開等問合せ多数 苦情2件(施設利用2件) 要望1件(施設利用1件) (丁寧な対応でハードクレームに発展する事案はなし、プール棟の営業についてわかりやすい情報発信を指示)	1件 要望1件(施設設備1件) (ソフト面での対策を指示)
利用者の要望把握方法、トラブル未然防止	運営委員会、利用者全体会を月1回開催し、利用者の意見を聞きながらコミュニケーションを取り、運営の効率化と利用者の処遇向上を図った。  (入所者とのコミュニケーションを図る上で必要なものであるため、継続的に実施するよう指示)	意見箱の内容を周知し、方策を検討及び実施した。二次救急の早期受入態勢確保のため医療機関等と連携を密接にした。また、運営委員会で方策を検討した。  (要望等を把握し、今後の運営に生かすよう指示)	利用報告書、第三者委員会の設置、要望の全体共有、施設予約時の説明・確認、事前打ち合わせ、苦情・要望の記録  (利用者からの要望に努めている)	静かなグループとにぎやかなグループを近づけないなど	利用報告書による把握  (意見箱設置による要望把握について検討を指示)	アンケートや口頭で要望を把握。速やかな対応と従業員の教育に努めた (今後利用者へのニーズに応じた管理運営、サービスの向上を指示)	利用者との話の中で、改善提案など直せるものは即対応した。クレーム・要望等はスタッフ全員で共有した。  (クレーム・要望は所管課にも運滞なく共有するよう指示)	意見箱に寄せられた意見・要望に対応 利用者からの意見、要望、苦情等を記録するメモを携行 葬祭業者との意見交換会の実施 (要望等に対する迅速かつ適切な対応及びトラブルの未然防止に努めるよう指示)
事故、緊急事態 内容	6件 転倒5件(うち打撲3件、裂傷1件、脱臼1件)、火傷1件  (再発防止策を講じ、利用者に指導するよう指示)	—	1件 転倒1件 (適切かつ丁寧な対応がとれている。今後も適切な対応をするよう指示)	1件 ぼや1件 (キャンプ場で使用した炭の廃棄について、消火の確認の徹底を指示)	なし	1件 事故1件 (支配人を中心に迅速かつ適切な対応であった。掲示等で事故防止の啓発を指示)	1件 大雨警報で休館 (迅速な判断で休館とし、素早く連絡対応を行った)	なし  (発生した場合、所管部署に報告し、臨機応変に対応するよう指示)
事故・緊急時対策	緊急連絡簿作成、身元保証人等の確定・変更の行政への依頼、協力病院との連携、夜間非常招集職員動員訓練、近隣派出所への名簿提出等  (行政・医療機関等との協力体制の構築、維持に努めるよう指示)	職員連絡網作成、緊急出動の徹底 (緊急時における利用者の安全確保及び市への報告を指示)	職員による状況確認、応急処置と必要に応じた救急車当の手配、家族への連絡と状況説明、館長へ報告  (引き続き事故・緊急時の体制の維持及び事故の未然防止に努めるよう指示)	AED訓練などの実施  (継続的な訓練の実施を指示)	防災組織により対応 (訓練の実施を指示)	人工呼吸・AEDの使用方法等の定期的な確認  (緊急事態発生時の迅速かつ確かな対応のため、訓練の継続を指示)	緊急時の連絡経路を確認。 勤務時スタッフは携帯電話を所持し異常時は支配人にすぐ連絡。 支配人公休日でも連絡するよう指導  (受付時に入館代表者連絡先の聞き取りを指示。適切な対応がとれるよう定期的な訓練の実施を指示)	職員の募集基準の明確化、配備指令の伝達手段確立 火災避難訓練の実施 (不測の事態に備えた定期的な訓練の実施を指示)
防犯対策、防災対策	夜間宿直、セキュリティシステムの整備 自主防災計画・地震防災計画を策定し、職員教育と訓練を毎月実施(日頃から防犯・防災意識を高め、計画に基づく訓練の実施を指示)	警備会社との連携を密にし、防犯カメラ、防犯ベルによる防犯体制の強化。市と連携した医療救護体制の整備、火災等災害の予防。職員配備態勢等の研修。	監視カメラでのチェック、警備会社による夜間警備、業者への緊急連絡網提出、職員巡回、消防設備保守点検、災害時対応マニュアルの確認、防災訓練の実施	連絡網、初期対応等の確認、無断侵入防止ためロープを設置	区会等での周知による防犯・防災体制の確立 (防災訓練の実施を指示。災害時の行動や連絡などの話し合いを提案)	機械警備及び地元交番への連絡体制の確認、防災訓練の実施 (定期的に訓練の実施や連絡体制を確認し、適切な対応を継続するよう指示)	全スタッフが消火器・消火栓の位置確認、避難経路の確認を年2回実施。  (適切な対応がとれるよう、定期的な訓練の実施を指示)	責任者による巡回、夜間は警備会社に機械警備を委託、緊急避難誘導体制の確立、器具等の転倒・転落防止 (今後も警備会社と連携して防犯対策に努めるよう指示)
サービス向上策 新しく行ったこと 改善したこと 自主事業等	個別の外出を中止し、施設内でのカラオケ、映画等を拡充。外出・面会できないストレスを抱えた入所者の精神衛生を保持。 ふれあい祭り等行事の実施。  (入所者の精神ケアに努めること、積極的な自主事業の実施等を指示)	新型コロナウイルス感染症対策としてコンテナハウスと仮設トイレを設置し、発熱患者の動線分離を徹底した。 電話診療に加え、タブレット端末を使用した診療も選択できるようにした。  (1時救急業務のほか、PCR検査業務においても感染症対策を徹底するよう指示)	新型コロナウイルス感染症対策(消毒液・体温計設置、換気、利用制限など)	受付時名入りライトボードプレゼント。 電話予約をメール予約に誘導。 蛍観察会の実施 ソロキャンプ割引(期間限定)	新型コロナウイルス感染症対策(消毒・体温計設置等) 世代間交流の実施。案山子の募集展示、七夕イベントの実施。 (農業農村の活性化のための施設であり、都市住民との交流や特産品開発等を求める)	新型コロナウイルス感染症対策の掲示、定期的なアルコール消毒。体温計設置。露天風呂にクワイアインゲンチェア設置  じゃんけん大会や宝探しゲーム等のイベントを開催  (今後もサービス向上に努めるよう指示)	BBQ新メニューの開発。 芝川漁協とのタイアップで遊漁券販売。  イタリアンのシェフを招き、メニュー構成を変更 (E-bikeを目立つようディスプレイし、貸出を依頼。イタリアンメニューの改定をHPなどで広報するようアドバイスした。売店に地のものを取り入れるよう指示) 接遇研修実施 (不測の事態に正規スタッフが対応できる体制を整えるよう指示)	ロビーからテラス席への段差解消 、葬儀社からの要望によりテーブル配置  売店及び自動販売機の営業 (利用者のサービス向上に繋がることは、今後も積極的に対応するよう指示)  研修(個人情報保護、コッパライズ、人権、接遇)、責任者等による適時指導 (今後も就業規則や業務マニュアル等を書面で通知し、雇用形態を明確にするよう指示)
職員研修等	法人内専門部会自主勉強会、虐待防止研修、環境教育研修、AED・吐物処理、食中毒等の内部研修	医薬品の取扱いについての研修への参加、レントゲン撮影補助研修の実施。	—	アウトドア安全講習会参加	役員組織による利用者サービスの実施 (引き続きの実施を指示)	—	—	—
障がい者、高齢者等への配慮	手帳交付手続き支援。高齢者の日常生活動作に応じた適切な配慮及び対応等	障がい者、高齢者へのいたわりをもった対応の徹底	手話通訳者の配置、点字表記・点訳、通路の障害物撤去、転倒防止策、車椅子配備、浴槽介護用椅子の配備等	対象者にとって利用しやすい場所を優先的に提供	駐車場から施設への階段通行に注意を払う (きめ細かい配慮の継続を指示)	スロープ通路のタイル補修、車椅子の貸出し、大広間で補助椅子貸出 (きめ細かい配慮の継続を指示)	付き添いサポート。高齢者施設修業経験者のスタッフへの指示。 (玄関でのスロープ利用やスタッフ介助を依頼。ミライROIDの対応指示)	車椅子4台を常設、車椅子希望者への速やかな提供、収容室に椅子を設置、待合ホールにバギー椅子を常設
広報の実施状況	入所案内を入所希望者の体験入所時に配布、ホームページによる情報提供、施設見学者への説明	救急医療センターの概要発行、配布	広報紙・ホームページでの施設紹介、小中学生福祉教育での施設見学対応	ホームページ、ブログでの情報発信、タウン誌・キャンプ専門誌への掲載	関係団体を通したPR、地元回覧での利用呼びかけ	イベント開催予定をテレビ・ラジオ・新聞社へ情報提供 (引き続き積極的な広報活動を行うよう指示)	イベント時、新聞・ラジオ等へ情報提供。福利厚生事業者と提携。 (利用者へ情報提供が必要なのは広報するよう指示)	利用者への情報提供が必要と判断する場合は広報を行う。 (利用者へ情報提供が必要なのは広報するよう指示)
経費削減策	基本協定書、年度協定書に基づき、老人保護措置費支弁額の範囲内で請求及び精算処理を実施 (入所者の処遇を維持しつつ、経費削減に努めるよう指示)	昼間の照明・空調等の節電対応、LED照明の設置。保健センターと連携し、施設及び設備保守管理委託の削減。  (今後も管理方法を工夫するよう指示)	業務用休日高負荷電力契約、ピークカット調整契約、非常照明器具のLED化等節電。紙の両面使用等。 冷暖房切替時の圧縮機運転停止  (今後も経費削減に努めるよう指示)	まとめて買いによる節約、ソーラーライトによる節電  (今後も経費削減に努めるよう指示)	集会室天井扇を活用し、空調の効率化を図っている。 (冷暖房以外の節電を指示)	施設管理委託業者の見直しによる経費削減、仕入れ業者の見直しによる原価削減、相見積りによる納入価格交渉、仕入原価の値下げ  (今後も可能な範囲で経費削減に努めるよう指示)	照明等グループスイッチ設定。ボイラー停止時刻設定。可能な修繕はスタッフが行う。  (経費の把握と実績の積上げを指示)	運転計画、運転制御によるエネルギーの省エネ使用による施設の省エネルギーを推進 (節約節電に努めている。業務を見直す中で自ら対応できるものは今後も積極的に実施するよう指示)

	9	10	11	12	13	14	15
施設名	市営墓地	都市公園	市民文化会館	富士宮市体育施設(芝川体育施設含む)	富士宮駅前交流センター	大富士交流センター	富丘交流センター
指定管理者	富士宮市振興公社	富士宮市振興公社	富士宮市振興公社グループ	富士宮市スポーツ協会・地域ステップアップサービスグループ	富士宮市振興公社	富士宮市振興公社	富士宮市振興公社
利用状況	利用者数(前年度、対前年度比率) — 利用料金(前年度、対前年度比率) —	朝基山公園野球場、城山公園運動場、朝霧自然公園(アリーナ) 23,278人(20,464人 113.8%) 1,825,819円(1,167,210円 156.4%)	2,037件(1,532件 133.0%) 68,887人(52,348人 131.6%) 13,976,212円(6,452,649円 216.6%)	387,990人(296,064人 131.0%) 43,456,546円(25,840,607円 168.2%)	28,469人(27,401人 103.9%) 6,742,430円(7,518,280円 89.7%)	34,323人(28,197人 121.7%) 1,281,010円(1,238,500円 103.4%)	※令和3年度開設 40,847人 589,000円
苦情、要望内容	7件 苦情2件(施設利用2件) 要望5件(施設環境5件) (利用者への対応・要望等について今後も迅速に対応するよう指示)	6件 通報4件(施設環境3件、施設利用1件) 要望2件(施設利用2件)	3件 苦情2件(施設環境2件) 要望1件(施設利用1件) (可能な限り利用者の希望に応えられる環境づくりに努めるよう指示)	18件 施設利用7件 施設環境11件 (引き続き苦情・要望に対し適切な対応を行うよう指示)	2件 要望2件(施設利用1件、施設環境1件)	1件 要望1件(施設利用1件)	2件 要望2件(施設環境2件)
利用者の要望把握方法、トラブル未然防止	管理人及び清掃委託者からの連絡、業務日報、ホームページの意見欄意見箱から要望を把握 市民からの要望等に対し必ず結果報告 (誠意をもって速やかに適切な対応を続けるよう指示)	5公園に意見箱を設置、ホームページから利用者の声の収集。作業時に、来園者などに直接要望を伺い、対応可能なものから改善した。剪定の要望は担当課と協議した。トラブル発生後に原因究明を行い再発防止に努めた。要望に応え表示看板の設置・張替を実施。	ヒアリング、アンケート箱設置、利用報告書、ホームページの意見欄による把握 駐車場利用状況の事前情報提供や訪込駐車車のチラシによる案内等。 (要望等は迅速かつ的確な対応、報告等を依頼。トラブル未然防止には十分な事前説明と利用者の理解を得られるよう指示)	意見箱の設置 施設巡回点検時に利用者から意見を伺う。ホームページでの意見把握 (今後も適切な対応を指示)	利用団体代表者会で施設利用方法の説明、運営協議会での意見交換、意見箱の設置、ホームページの意見欄での把握、駐車場利用方法の丁寧な説明など (今後も利用者との意見交換や利用方法の丁寧な説明を指示)	運営協議会の開催、意見箱の設置、ホームページの意見欄による把握、利用報告書の意見欄による把握 (使い勝手の良い施設とするため、引き続き利用者の要望を把握するよう指示)	意見箱・ホームページの意見欄・利用報告書の意見欄設置、運営協議会実施 (使い勝手の良い施設とするため、引き続き利用者の要望を把握するよう指示)
事故、緊急事態内容	1件 利用者がトイレ配管を破損。修理してもらった。 ※古紙回収ボックス裏の不法投棄を報告	3件 事故2件(草刈り作業中の破損) 被害1件(遊具落書き) (作業時の養生・安全対策の徹底を指示)	なし ※台風時の避難所開設1回	1件 怪我1件 (迅速な対応だった。今後も利用者の安全安心に配慮し、けがや事故が起きた際は適切な対応を指示)	1件 機器不具合1件 (迅速かつ最善の対応だった。今後も有事の迅速かつ最善の対応を指示)	なし (引き続き、事故・事件の未然防止対策を指示。30日対応は市等の指示に基づき実施するよう指示。市の方針をセンターに通知。)	3件 設備破損1件 設備故障1件 雨漏り1件(継続) ※避難所開設3回
事故・緊急時対策	対応マニュアルの周知徹底、体制整備、通報時の即時対応の徹底 (非常時及び緊急事態に備えた体制確認、訓練の実施を指示)	緊急時対応マニュアルに沿った体制整備 利用者からの通報には直ちに対応 事故・緊急時の内容により速やかに市担当課と連絡協議を行う。 ドクターへ離着陸要請に対しての迅速対応 普通救命講習の定期的な再受講、消防訓練	緊急時対応マニュアルの周知徹底 消防訓練の実施 新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた利用方法等について職員間で共有 (常に危機意識を持った業務従事及び防災・消防訓練の定期的実施を指示)	緊急時の簡易対応マニュアルの掲示 熱中症対策(水の提供) 救急箱、AED、医務室の定期点検 多目的トイレ呼出ボタンの点検 (日頃から危機意識を持ち業務に従事するよう指示)	事故・緊急時の対応体制を設け周知徹底 (緊急時に適切な対応が取れるように医療機関や市等の関係機関との協力関係の維持に努めるよう指示)	事故・緊急時の対応体制を設け周知徹底 (緊急時に適切な対応が取れるように医療機関や市等の関係機関との協力関係の維持に努めるよう指示)	事故・緊急時の対応体制を設け周知徹底 (緊急時に適切な対応が取れるように医療機関や市等の関係機関との協力関係の維持に努めるよう指示)
防犯対策、防災対策	清掃時の見回り、夜間照明灯の点灯確認(舞々木墓地) 開園、閉園時の見回り、閉園時進入路を閉鎖施設(朝霧公園) 繁忙期(盆・彼岸)の見回り強化	定期巡回 植込みを調整し、見通しを確保 白尾山公園等へ災害救済ヘンダー型自動販売機の設置 避難指定公園の施設点検の強化	館内外の見回り、外灯の球切れ、ガラス破損等の監視強化 剪定による死角箇所の減少、混雑時の駐車場・トイレ等の巡回実施、多目的トイレ呼出ボタン動作確認	車上狙い防止のための職員による館内及び駐車場巡回の実施 防災訓練を年2回実施 甲種防火管理者7人体制 (継続した防犯・防災対策を指示)	ステッカー掲示、2階出入口閉鎖、防犯カメラ及び災害救済用自動販売機の設置、情報伝達訓練の実施、大雨時水止め板の設置 (今後も防犯対策に努めるよう指示)	宮原交番との情報共有 防犯カメラ・災害救済用自動販売機設置、施設周辺ゴミ放置等注意喚起、消防訓練・情報伝達訓練実施 (今後も防犯対策に努めるよう指示)	西町交番との情報共有 防犯対策マニュアルの作成、消防計画に基づく自主点検・消防訓練、情報伝達訓練等 (今後も防犯対策に努めるよう指示)
サービス向上策 新しく行ったこと 改善したこと 自主事業等	バケツ、柄杓等の備品補充 盆、彼岸期にミタマ袋・線香を販売、風防ライター無料貸出、墓地清掃代行サービス(朝霧公園) (利用者のサービス向上に繋がることは、今後も積極的に対応するよう指示)	外神東公園の花壇整備、電球のLED化、トイレトイレットペーパーホルダーの型式変更(利便性向上)、コロナ対策(利用者名簿提出) 愛犬との暮らし方教室、みどりの教室開催、剪定木の無料配布 (引き続きサービス向上に努めるよう依頼)	コロナで中止した施設使用料の全額還付。過去の自主事業の録画映像をYouTubeで配信。大ホールシアターを利用したコロナ対応事業を実施 鑑賞事業 14事業101回 講座事業 7講座120回 (十分な感染症対策を行い、充実した事業を継続実施するよう指示)	新規トレーニング器具の設置 新型コロナウイルス感染症対策(消毒機能付き自動検温器) 散水機導入(外神グラウンド)、喫煙所バーテーション設置、更衣室にエアコン設置(体育館) 外部インフラクターによる教室、職員による教室実施	新型コロナウイルス感染症対策(バーテーション・消毒液・検温器設置、HPで情報提供等) ホームページで講座申込受付、実習生受入れ等 小規模授産所連合会によるパン等の販売コーナーの継続など (利用者の交流及び活動の幅が広がる取組の実施を指示)	新型コロナウイルス感染症対策(消毒・体温測定器設置等) ホームページで講座申込受付、実習生受入れ等 幼児保育教室、子ども料理教室、絵画読み聞かせ事業の実施など (利用者の交流及び活動の幅が広がる取組の実施を指示)	新型コロナウイルス感染症対策(消毒・体温測定器設置等) ホームページで講座申込受付、募金箱設置等、親子講座、高齢者学級、幼児家庭教育学級の実施、利用団体の作品展示など (利用者の交流及び活動の幅が広がる取組の実施を指示)
職員研修等	普通救命講習、刈払機取扱作業者技能講習受講 (適切な人員配置及び必要な研修の実施による職員の資質向上を指示)	有資格者及び講座修了者が各業務を担当した。(造園施工管理技術士、公園管理運営士、職長・安全衛生責任者教育、刈払機取扱作業者安全衛生教育、伐木等業務従事者特別教育、高所作業車運転技能講習)	各種立文化施設協議会研修会等への出席と定期的な職員間の意見交換の実施	危険物取扱者乙種第4類資格取得研修の受入れ等 (遭遇の向上を意識して業務にあたるよう指示)	なし (利用者へのサービス向上に向けた能力を職員が身に付ける研修への積極的な参加を指示)	初期消防訓練等実施 (利用者へのサービス向上に向けた能力を職員が身に付ける研修への積極的な参加を指示)	防火管理者講習受講、火災報知機の設置場所・使用方法再確認 (利用者へのサービス向上に向けた研修への積極的な参加を指示)
障がい者、高齢者等の配慮	車椅子を1台配置(朝霧公園) (継続的な配慮を指示)	障がい者用車両に対するきめ細やかな対応、公園使用申請の簡便化、点検時の点差等確認・対応	ヒアリンググループ聴聴システム受信機の利用案内、車椅子のわかりやすい位置への配置、介助が必要な場合は、職員が対応、エレベーター等案内を分かりやすく表示	手すり設置(外神グラウンド)、障がい者用臨時駐車場の確保、職員の付き添い、器具の貸出・準備等の補助 (今後もきめ細やかな配慮を指示)	車いす利用者駐車場利用者が多い時の配慮、老眼鏡設置、車椅子の配備、高齢者への親切丁寧な説明 (引き続き誰もが使いやすい施設となるよう指示)	車いすの管理、老眼鏡設置、施設案内板の文字を大きく掲出 (引き続き誰もが使いやすい施設となるよう指示)	車いす設置・管理、老眼鏡設置 (引き続き誰もが使いやすい施設となるよう指示)
広報の実施状況	振興公社ホームページにサービス内容掲載。墓地清掃代行サービスのチラシ・ポスター配布。 (継続した情報提供を指示)	都市公園の位置図、有料公園施設の案内等ホームページに掲載、自主事業の報道提供、チラシ掲示、過去の参加者へ案内送付など	ホームページ、SNSの利用、月刊報案内の発行、チラシ等の市内外紙への配布、地元紙、フリーペーパーへの掲載依頼 (広報の充実、SNS等による情報発信の強化を指示)	ホームページ・SNSでの情報発信、施設利用に関するポスターの設置、地元紙へのスポーツ教室等の掲載 (わかりやすく、新しい情報提供を指示)	ホームページ、広報紙等を通じた各種講座、活動内容の周知、機関紙の発行など (社会教育・国際交流・市民交流活動の積極的な広報を指示)	ホームページ・広報紙・地元新聞社等への講座募集記事掲載、地元ラジオでのPR等 (社会教育・市民交流活動の積極的な広報を指示)	ホームページ・広報紙・チラシ配布で講座受講募集、年間計画の周知 (利用者・移動率の増加につながるよう、様々な方法での広報活動を指示)
経費削減策	内部で対応可能な業務の外注廃止、広範囲の草刈りに常用草刈り機使用による人件費削減、紙の両面使用、裏紙使用 (経費削減は徹底しているが、今後も支障のない範囲で努めるよう指示)	水道メーターのこまめな確認、職員による簡易な修繕・修理の実施、LED化による省電力化、乗用草刈機の使用による人件費削減、外神東公園園の停止による節電、燃料費購入方法の変更により購入単価削減	節電計画による空調機器の計画運転、蛍光灯等の減灯などの各種節電、低木剪定等の委託による実施、長期契約による委託料削減 (今後も経費削減に努めるよう指示)	照明点灯時間の調整による節電 職員による剪定や簡易修繕の実施 コピー紙等の管理徹底による経費削減 館内蛍光灯のLED化 (今後も経費削減に努めるよう指示)	空調機の消し忘れ防止、適切な温度設定、裏紙使用 水道・電気等のメーターを定期的に確認 (利用者の理解を得ながら経費削減に努めるよう指示)	空調機の温度設定・こまめな消灯で電気ガス使用量削減、電力購入先の変更による電気料削減、裏紙使用、職員による簡易修繕の実施 (利用者からの理解を得ながら、引き続き経費削減に努めるよう指示)	空調機の温度設定・こまめな消灯による節電。職員による草刈り等の実施 (利用者からの理解を得ながら、引き続き経費削減に努めるよう指示)